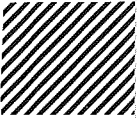


I 調査結果の概要



1 産地上場水揚量、水揚価額及び卸売価格の動き（203漁港）

全国の主要漁港の水産物の上場水揚量（貝類・海藻類を除く魚類・水産動物類の上場水揚量計。）は288万7,458 tで、ほぼ前年並みであった。

水揚価額は5,261億円で、前年に比べ4%減少した。

卸売価格（水揚価額を上場水揚量で除した1kg当たりの価格。）は182円で、前年に比べ5%低下した。

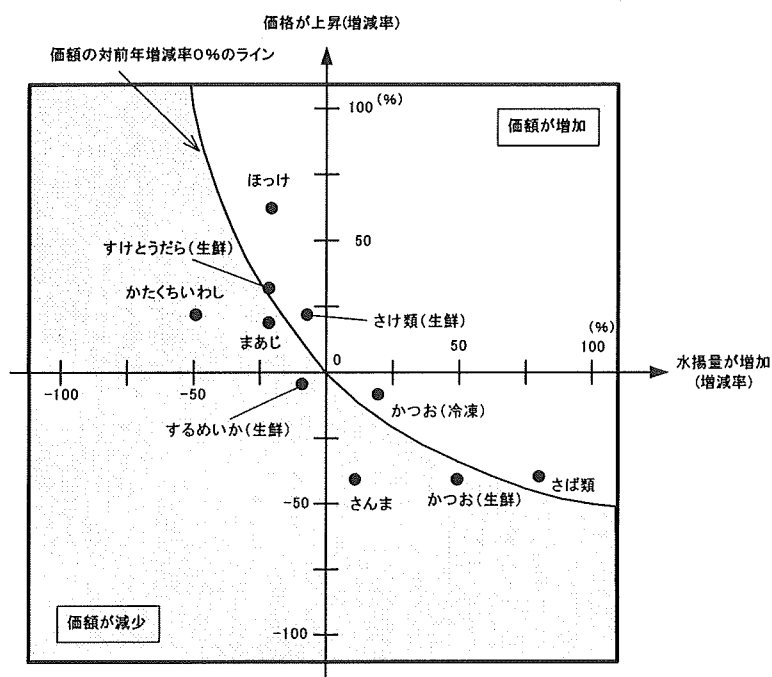
なお、203漁港の水揚量が平成17年の海面漁業・養殖業生産量（貝類・海藻類を除く。）425万1,222 tに占める割合は68%であった。

表1 品目別上場水揚量、水揚価額、卸売価格の推移（水揚量上位品目）

年次	品目	単位										
		計	さば類	かつお (冷凍)	さんま	まあじ	かたくち いわし	すけとう だら(生鮮)	するめいか (生鮮)	ほっけ	さけ類 (生鮮)	かつお (生鮮)
上場水揚量												
平.	13	3 018 797	357 376	181 360	268 169	154 084	185 351	147 256	147 905	123 122	100 321	80 864
	14	2 732 536	277 540	213 404	203 665	158 860	267 119	169 455	149 407	114 040	104 598	67 770
	15	2 948 581	310 144	199 774	258 626	202 727	346 744	162 514	119 284	122 779	127 157	106 609
	16	2 865 556	328 161	207 927	205 260	209 591	325 852	164 384	133 715	149 884	124 843	71 532
	17	2 887 458	601 914	248 397	226 876	160 484	157 649	126 846	120 928	117 426	114 539	107 750
対前年比(%)	17/16	101	183	119	111	77	48	77	90	78	92	151
水揚価額												
平.	13	607 296	32 546	22 410	28 132	31 977	9 355	12 604	22 022	5 146	26 880	24 448
	14	596 840	29 398	27 160	32 148	32 567	11 009	14 362	29 340	4 432	27 147	23 128
	15	529 937	24 433	20 641	17 227	29 945	8 837	11 842	24 339	3 504	24 166	23 600
	16	550 004	28 638	24 786	22 619	30 177	7 617	10 877	34 389	4 276	28 602	25 030
	17	526 100	31 960	27 365	14 933	27 367	4 446	11 027	29 798	5 509	32 103	22 665
対前年比(%)	17/16	96	112	110	66	91	58	101	87	129	112	91
卸売価格												
平.	13	201	91	124	105	208	50	86	149	42	268	302
	14	218	106	127	158	205	41	85	196	39	260	341
	15	180	79	103	67	148	25	73	204	29	190	221
	16	192	87	119	110	144	23	66	257	29	229	350
	17	182	53	110	66	171	28	87	246	47	280	210
対前年比(%)	17/16	95	61	92	60	119	122	132	96	162	122	60

注：1 「さけ類（生鮮）」は、冷凍品を含む。
2 「するめいか」には、「まついか類」を含む。

図1 上場水揚量上位品目別水揚価額の増減（対前年比較）



注： 図1は、水揚量と価格の増減率を打点することで、水揚価額の増減傾向を示している。白抜き部分に打点された場合は、水揚価額は増加、網かけ部分に打点された場合は、減少したことを表す。

(1) 主な品目の動向

ア さば類

上場水揚量は60万1,914 tで、前年に比べ83%増加した。（表1）

これは、銚子（千葉）、波崎（茨城）、八戸（青森）、石巻（宮城）等で大幅に増加したためである。

水揚価額は320億円で、前年に比べ12%増加した。

1 kg当たり卸売価格は53円で、上場水揚量の大幅な増加等により前年に比べ39%低下した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、銚子（千葉）が22%と最も高く、次いで波崎（茨城）、松浦（長崎）がともに9%となっている。（表1、図2、3）

図2 さば類の上場水揚量及び卸売価格の推移

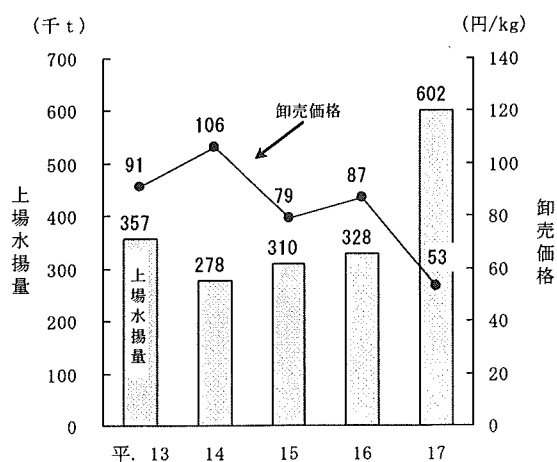
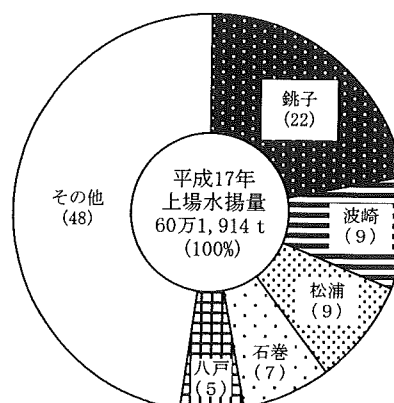


図3 さば類の上場水揚量の漁港別割合



イ かつお（冷凍）

上場水揚量は24万8,397 tで、前年に比べ19%増加した。（表1）

これは、焼津（静岡）、石巻（宮城）、山川（鹿児島）等で増加したためである。

水揚価額は274億円で、前年に比べ10%増加した。

1 kg当たり卸売価格は110円で、上場水揚量の増加等により前年に比べ8%低下した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、焼津（静岡）が60%と最も高く、次いで枕崎（鹿児島）が14%、石巻（宮城）が12%となっている。（表1、図4、5）

図4 かつお（冷凍）の上場水揚量及び卸売価格の推移

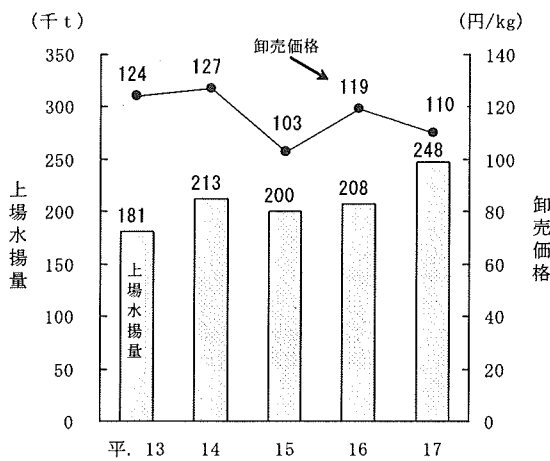
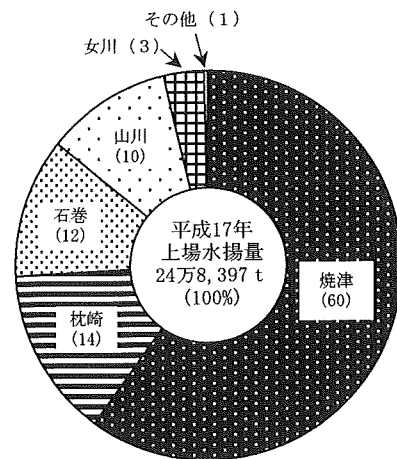


図5 かつお（冷凍）の上場水揚量の漁港別割合



ウ かたくちいわし

上場水揚量は15万7,649 tで、前年に比べ52%減少した。（表1）

これは、銚子（千葉）、釧路（北海道）、波崎（茨城）等、多くの漁港で減少したためである。

水揚価額は44億円で、前年に比べ42%減少した。

1 kg当たり卸売価格は28円で、上場水揚量の大幅な減少により前年に比べ22%上昇した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、銚子（千葉）が24%と最も高く、次いで波崎（茨城）が21%、石巻（宮城）が7%となっている。（表1、図6、7）

図6 かたくちいわしの上場水揚量及び卸売価格の推移

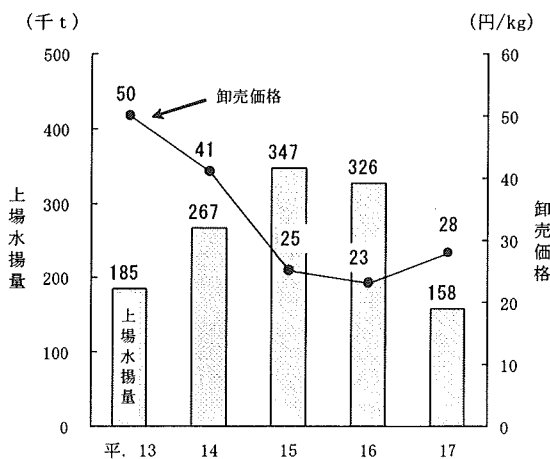
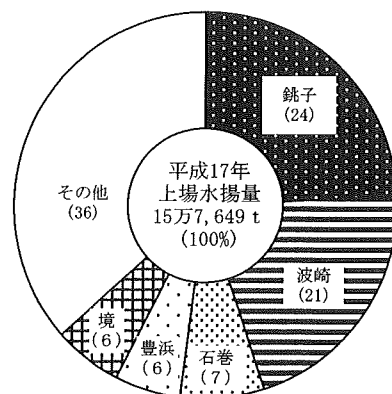


図7 かたくちいわしの上場水揚量の漁港別割合



エ まあじ

上場水揚量は16万484 tで、前年に比べ23%減少した。(表1)

これは、境(鳥取)、松浦(長崎)、唐津(佐賀)、福岡(福岡)等で減少したためである。

水揚価額は274億円で、前年に比べ9%減少した。

1kg当たり卸売価格は171円で、上場水揚量の減少により前年に比べ19%上昇した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、境(鳥取)が18%と最も高く、次いで松浦(長崎)が17%、長崎(長崎)、唐津(佐賀)がともに9%となっている。(表1、図8、9)

図8 まあじの上場水揚量及び卸売価格の推移

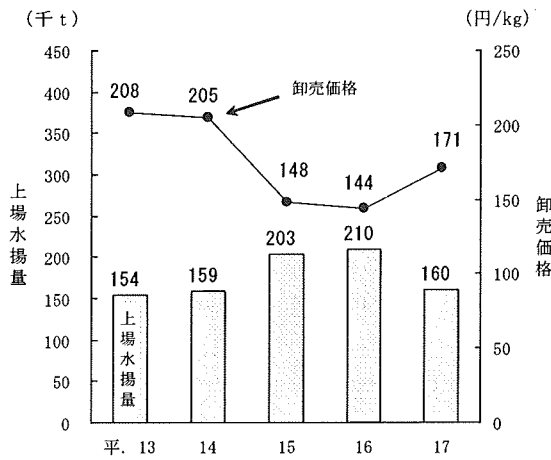
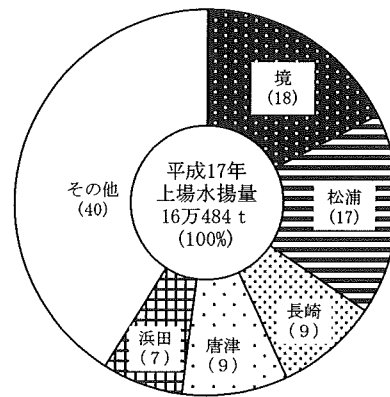


図9 まあじの上場水揚量の漁港別割合



オ すけとうだら(生鮮)

上場水揚量は12万6,846 tで、前年に比べ23%減少した。(表1)

これは、釧路(北海道)を始め、ほとんどの漁港で減少したためである。

水揚価額は110億円で、ほぼ前年並みであった。

1kg当たり卸売価格は87円で、上場水揚量の減少により前年に比べ32%上昇した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、釧路(北海道)が42%と最も高く、次いで小樽(北海道)が10%、羅臼(北海道)が8%となっている。(表1、図10、11)

図10 すけとうだら(生鮮)の上場水揚量及び卸売価格の推移

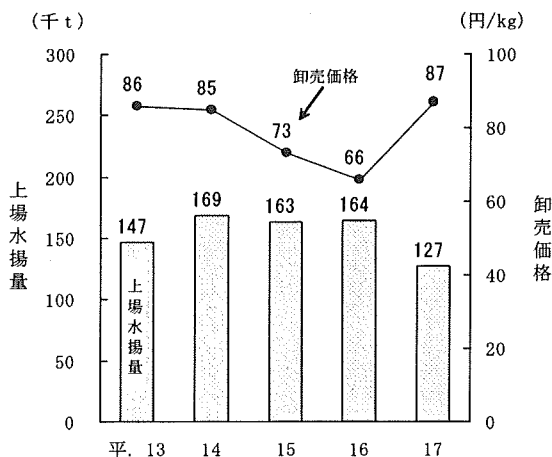
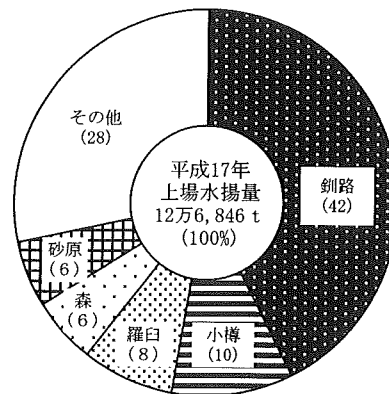


図11 すけとうだら(生鮮)の上場水揚量の漁港別割合



(2) 主要漁港の動向

漁港別の上場水揚量をみると、焼津（静岡）が22万8,665 t（構成割合 8%）で最も多く、次いで銚子（千葉）が21万4,975 t（同 7%）、石巻（宮城）が15万7,574 t（同 5%）、八戸（青森）が14万8,855 t（同 5%）、釧路（北海道）が11万8,938 t（同 4%）の順となっている。（表 2）

なお、上位10漁港の上場水揚量は、全体の45%を占めている。（図12）

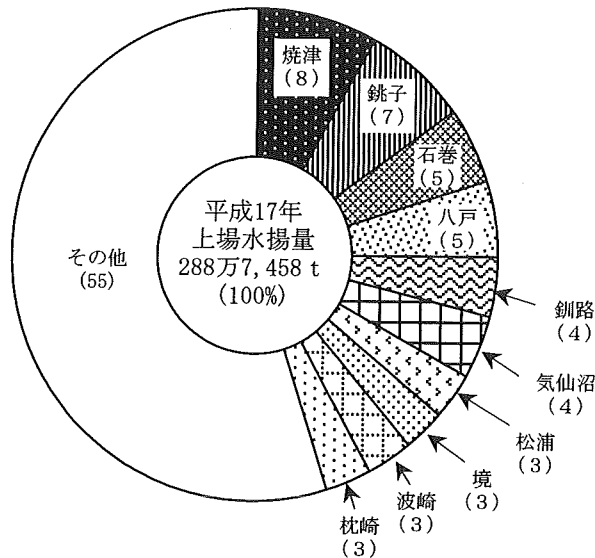
水揚量上位 5 漁港の動向は以下のとおりである。（表 2、図13）

表 2 漁港別上場水揚量・水揚価額の推移（水揚量上位 5 漁港）

漁港 年次	計	単位				
		焼津 （静岡）	銚子 （千葉）	石巻 （宮城）	八戸 （青森）	釧路 （北海道）
上場水揚量						
平. 13	3 018 797	216 228	237 127	162 552	213 644	126 474
14	2 732 536	248 690	187 425	108 306	160 676	152 439
15	2 948 581	238 666	219 612	128 603	147 675	161 602
16	2 865 556	225 629	200 928	117 708	141 914	157 375
17	2 887 458	228 665	214 975	157 574	148 855	118 938
対前年比						
17/16	101	101	107	134	105	76
水揚価額						
平. 13	607 296	47 777	25 144	16 350	29 007	17 817
14	596 840	47 873	20 030	17 854	27 946	19 389
15	529 937	42 440	17 829	15 261	24 495	14 761
16	550 004	37 743	20 396	17 800	28 239	15 246
17	526 100	38 672	18 263	17 101	23 878	13 234
対前年比						
17/16	96	102	90	96	85	87

注：漁港名の（ ）書きは、所在する都道府県名である。

図12 上場水揚量の主要漁港別構成割合



ア 焼津

上場水揚量は22万8,665 tで、ほぼ前年並みであった。

これは、さば類、びんなが（生鮮、冷凍）等は減少したものの、かつお（冷凍）がかなり増加したためである。

水揚価額は387億円で、前年に比べ2%増加した。

イ 銚子

上場水揚量は21万4,975 tで、前年に比べ7%増加した。

これは、かたくちいわし等は減少したものの、さば類が大幅に増加したためである。

水揚価額は183億円で、前年に比べ10%減少した。

ウ 石巻

上場水揚量は15万7,574 tで、前年に比べ34%増加した。

これは、すけとうだら（生鮮）、びんなが（冷凍）等は減少したものの、さば類、かつお（冷凍）等が大幅に増加したためである。

水揚価額は171億円で、前年に比べ4%減少した。

エ 八戸

上場水揚量は14万8,855 tで、前年に比べ5%増加した。

これは、あかいか（冷凍）、するめいか（生鮮）等は減少したものの、さば類が大幅に増加したためである。

水揚価額は239億円で、前年に比べ15%減少した。

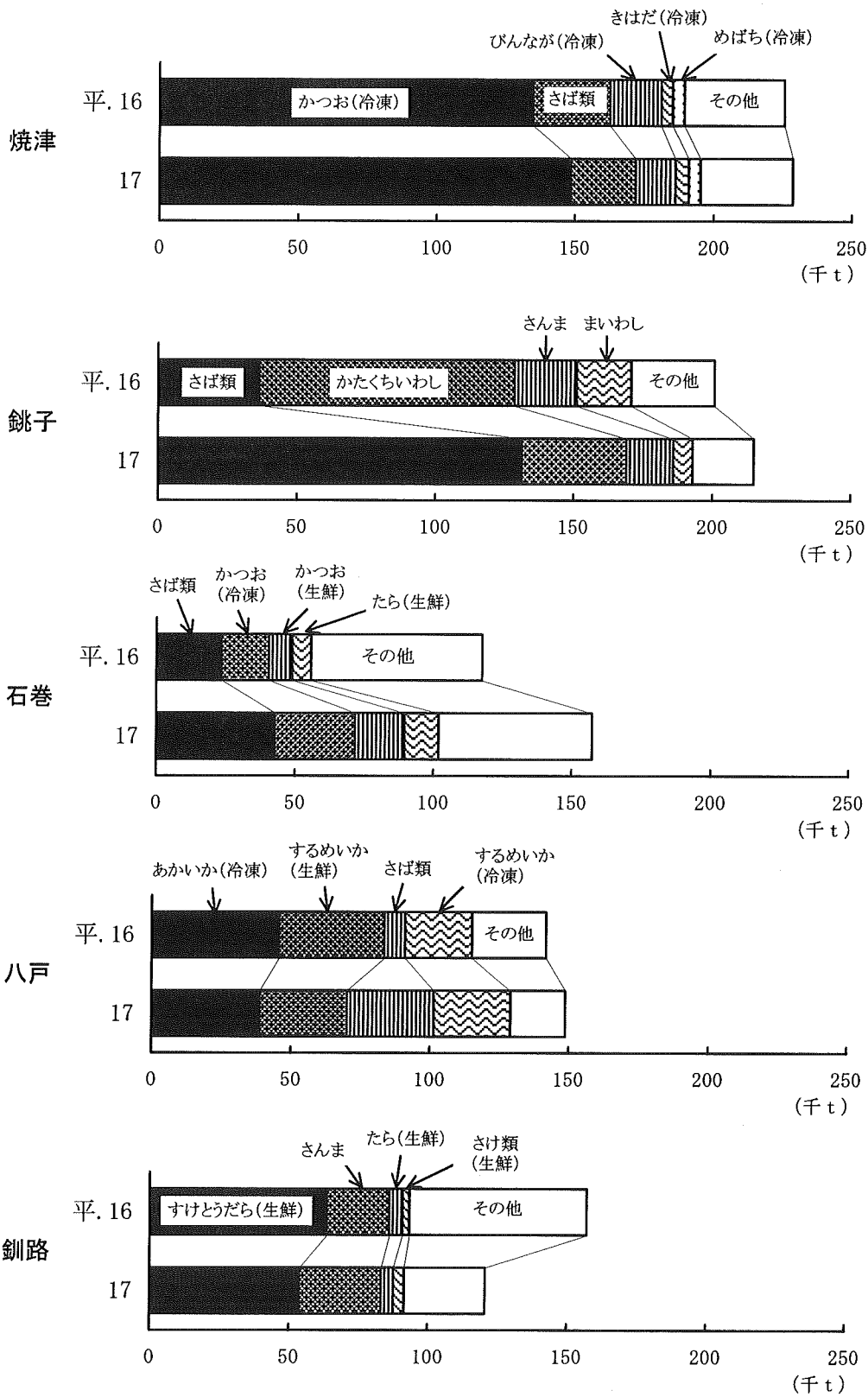
オ 釧路

上場水揚量は11万8,938 tで、前年に比べ24%減少した。

これは、さんま等は増加したものの、かたくちいわし、すけとうだら（生鮮）等が減少したためである。

水揚価額は132億円で、前年に比べ13%減少した。

図13 主要漁港の品目別水揚量の動向（平成16・17年）



2 水産物流通形態別出荷量の動き（32漁港）

(1) 用途別出荷量

用途別出荷量割合（合計）は食用向けが78.9%、非食用向けが21.1%となった。

食用向けのうち、生鮮食用向けは28.3%で、前年並みとなり、食用加工向けは50.6%で、前年に比べ7.2ポイント上昇した。

また、非食用向けのうち、魚油・飼肥料向けは1.8%で、前年に比べ2.0ポイント低下し、養殖用又は漁業用餌料向けは19.3%で、前年に比べ4.1ポイント低下した。

表3 用途別出荷量割合

区 分	出荷量計	食用向け			非食用向け		
		小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼肥 料 向 け	養殖用又は 漁業用餌料 向 け
出荷量割合 (%)							
合 計	100.0	78.9	28.3	50.6	21.1	1.8	19.3
生 鮮 品 計	100.0	73.5	30.1	43.4	26.5	2.3	24.2
冷 凍 品 計	100.0	99.9	21.4	78.4	0.1	-	0.1
対前年差(ポイント)							
合 計	-	6.1	△ 1.1	7.2	△ 6.1	△ 2.0	△ 4.1
生 鮮 品 計	-	7.2	△ 0.6	7.8	△ 7.2	△ 2.5	△ 4.8
冷 凍 品 計	-	0.1	△ 2.8	2.7	△ 0.1	-	△ 0.1

注：四捨五入の関係で合計と内訳の計が一致しない場合がある。（以下の各表において同じ。）

(2) 仕向先別出荷量

生鮮食用向けの仕向先別出荷量割合（合計）は、県内向けが20.2%、県外向けが79.8%となった。

県内向けのうち、県内市場向けは6.8%、市場外向けは13.4%でほぼ前年並みとなった。

また、県外向けのうち、県外市場向けは73.3%、市場外向けは6.5%で、ほぼ前年並みとなった。

表4 仕向先別出荷量割合

区 分	生鮮食用 向 け 出 荷 量 計	県内向け			県外向け		
		小計	県内市場	市場外	小計	県外市場	市場外
出荷量割合 (%)							
合 計	100.0	20.2	6.8	13.4	79.8	73.3	6.5
生 鮮 品 計	100.0	19.6	7.5	12.1	80.4	76.3	4.1
冷 凍 品 計	100.0	23.5	3.0	20.5	76.5	56.6	19.9
対前年差(ポイント)							
合 計	-	0.5	△ 0.9	1.4	△ 0.4	△ 0.5	0.1
生 鮮 品 計	-	0.3	△ 1.2	1.5	△ 0.4	0.5	△ 0.9
冷 凍 品 計	-	0.6	△ 0.4	1.0	△ 0.6	△ 6.5	5.9

3 消費地卸売数量、卸売価額、卸売価格等の動き

(1) 消費地中央卸売市場における動き (10都市)

卸売数量は189万5,358 tで、前年に比べ9万9,242 t (5%)減少した。

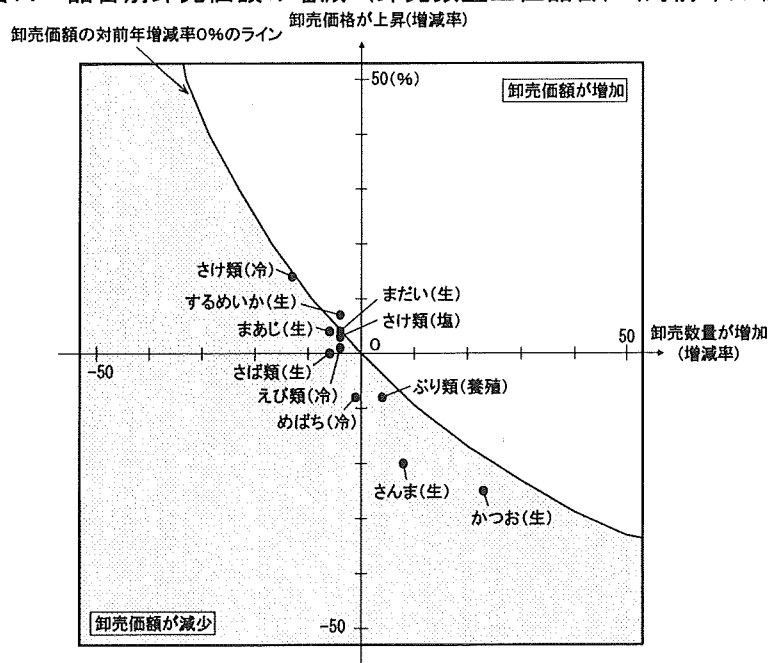
卸売価額は1兆4,688億円で、前年に比べ471億円(3%)減少した。

この結果、卸売価格(卸売価額を卸売数量で除した1kg当たりの平均価格。以下「価格」という。)は775円で、前年に比べ15円(2%)上昇した。

表5 品目別消費地卸売数量、卸売価額及び卸売価格の推移(卸売数量上位品目)

品目 年次	計	さけ類		ぶり類 (養殖)	えび類 (冷凍)	まあじ (生鮮)	さば類 (生鮮)	さんま (生鮮)	めばち (冷凍)	するめいか (生鮮)	まだい (生鮮)	かつお (生鮮)
		(冷凍)	(塩蔵)									
卸売数量												
平.13	2 141 583	64 819	52 449	56 496	56 706	49 537	54 616	39 339	50 639	57 453	33 980	27 659
14	2 089 773	73 146	53 289	57 408	54 940	47 918	53 515	37 025	54 780	52 060	36 321	24 494
15	2 034 416	67 072	47 743	54 670	53 017	51 854	46 798	43 768	51 604	46 760	43 082	34 135
16	1 994 600	66 270	46 709	54 065	53 499	51 470	50 295	41 730	45 454	44 643	43 699	26 915
17	1 895 358	57 654	44 648	56 124	51 215	48 400	47 505	45 225	44 910	42 689	41 793	33 173
対前年比(%) 17/16	95	87	96	104	96	94	94	108	99	96	96	123
卸売価額												
平.13	1 708 215	31 268	34 667	51 257	82 033	22 893	17 685	17 665	47 415	17 663	38 680	14 572
14	1 663 827	33 010	33 791	48 944	74 259	22 265	17 922	16 961	46 335	17 817	36 009	14 103
15	1 551 977	34 463	32 035	49 605	67 023	21 419	16 065	14 237	44 362	17 092	33 363	14 116
16	1 515 893	32 495	30 548	45 896	63 864	20 580	16 425	15 330	41 427	17 377	33 905	14 516
17	1 468 813	32 258	30 152	43 624	61 959	20 117	15 511	13 353	37 772	17 750	33 606	13 440
対前年比(%) 17/16	97	99	99	95	97	98	94	87	91	102	99	93
卸売価格												
平.13	798	482	661	907	1 447	462	324	449	936	307	1 138	527
14	796	451	634	853	1 352	465	335	458	846	342	991	576
15	763	514	671	907	1 264	413	343	325	860	366	774	414
16	760	490	654	849	1 194	400	327	367	911	389	776	539
17	775	560	675	777	1 210	416	327	295	841	416	804	405
対前年比(%) 17/16	102	114	103	92	101	104	100	80	92	107	104	75

図14 品目別卸売価額の増減(卸売数量上位品目)(対前年比較)



(2) 主要品目別にみた卸売価格、冷凍・冷蔵工場年末在庫量等の動き

10都市中央卸売市場において、卸売数量上位品目のうち、価格の変動が大きい品目をみると以下のとおりである。

ア さけ類（冷凍品）

冷凍品の卸売価格は560円で、前年に比べ70円（14%）上昇した。

これは、輸入価格が上昇したためである。

冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は10万7,328 tで、前年に比べ1万7,741 t（20%）増加した。

図15 さけ類の卸売数量及び卸売価格の推移

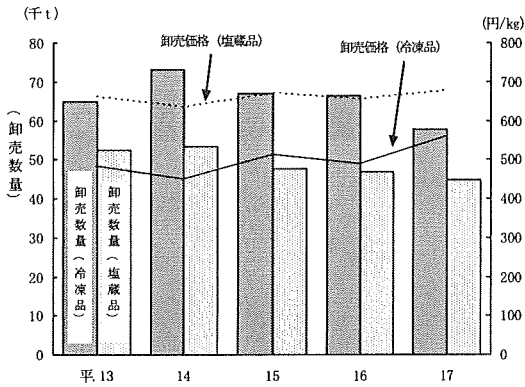


図16 さけ類（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

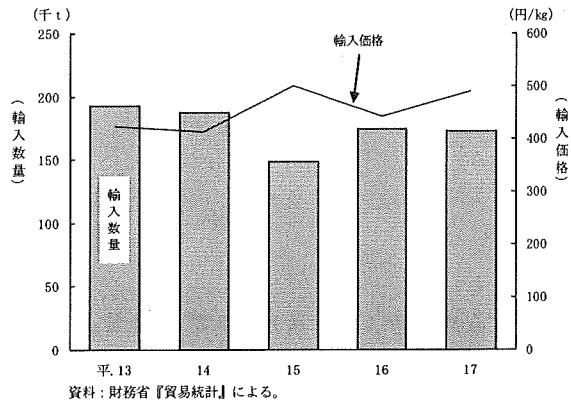
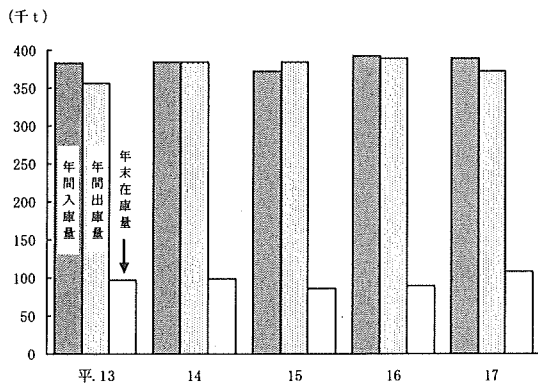


図17 さけ類（冷凍品）の年間入庫量、年間出庫量及び年末在庫量の推移



イ するめいか（生鮮品）

生鮮品の卸売価格は416円で、前年に比べ27円（7%）上昇した。

これは、水揚量が減少したためである。

冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は5万6,515 tで、前年に比べ3,345 t（6%）増加した。

図18 するめいかの卸売数量及び卸売価格の推移

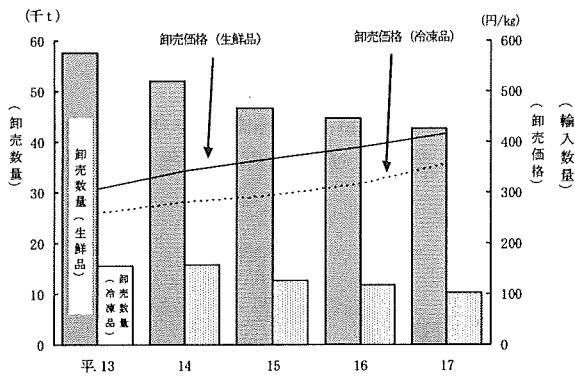
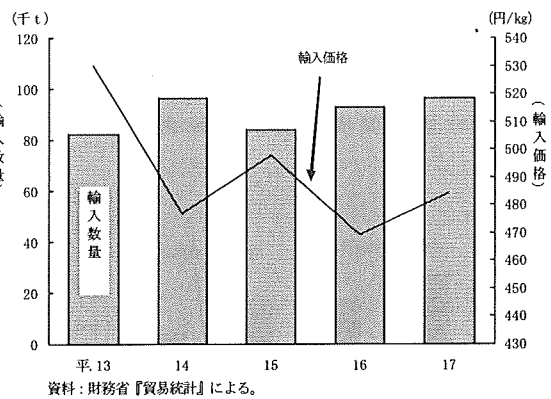
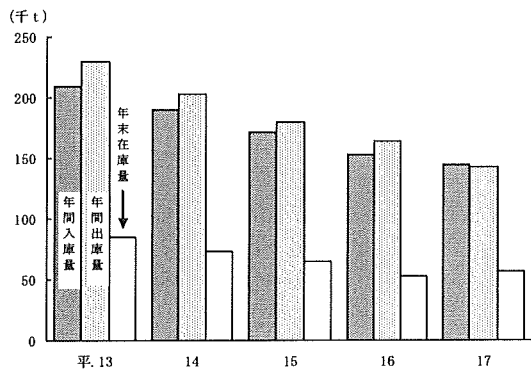


図19 いか類（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移



資料：財務省『貿易統計』による。

図20 するめいか（冷凍品）の年間入庫量、年間出庫量及び年末在庫量の推移



ウ かつお（生鮮品）

生鮮品の卸売価格は405円で、前年に比べ134円（25%）低下した。

これは、水揚量が増加したためである。

冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は3万6,016 tで、前年に比べ7,954 t（18%）減少した。

図 21 かつおの卸売数量及び卸売価格の推移

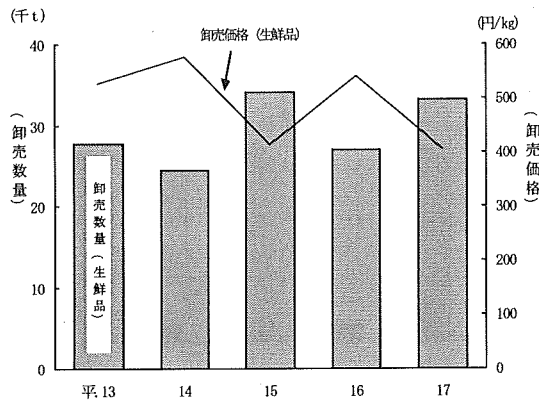


図 22 かつお（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

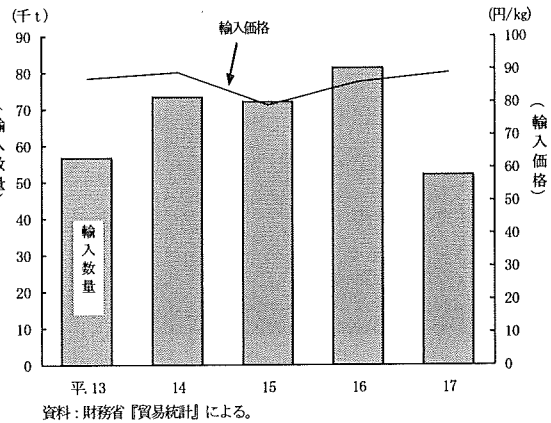
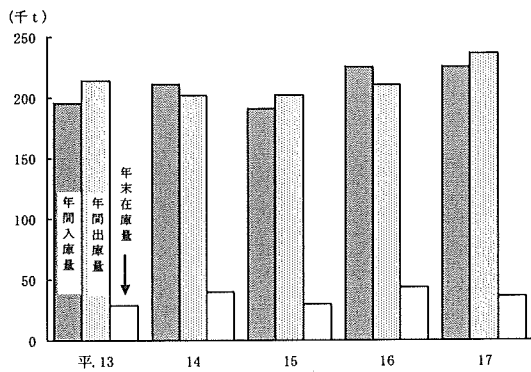


図 23 かつお（冷凍品）の年間入庫量、年間出庫量及び年末在庫量の推移



エ さんま（生鮮品）

生鮮品の卸売価格は295円で、前年に比べ72円（20%）低下した。

これは、水揚量が増加したためである。

冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は6万5,623 tで、前年に比べ7,304 t（13%）増加した。

図24 さんまの卸売数量及び卸売価格の推移

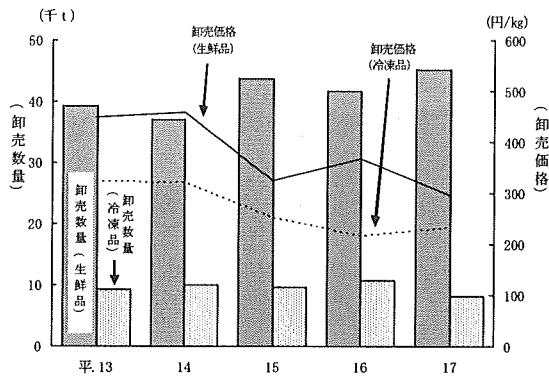


図25 さんま（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

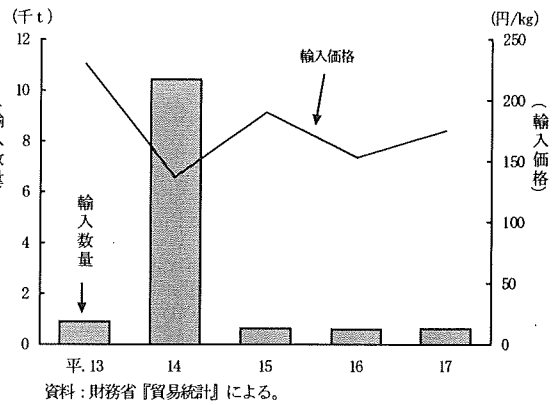
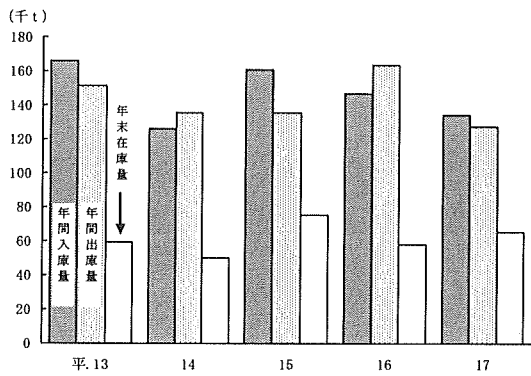


図26 さんま（冷凍品）の年間入庫量、年間出庫量及び年末在庫量の推移



4 水産加工品生産量の動き

(1) 食用加工品生産量

食用加工品生産量は209万493 tで、前年に比べ2%減少した。

加工種類別にみると、冷凍食品は水産物調理食品が減少したこと等により6%減少し、くん製品は9%減少した。

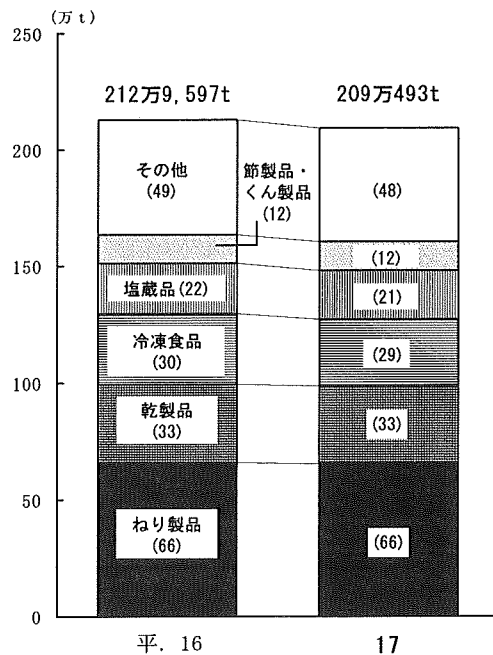
一方、節製品は節類が増加したことにより1%増加した。

表6 加工種類別生産量の推移

加工種類 年次	食用加工品								生鮮冷凍 ^{注)} 水産物
	計	ねり製品	冷凍食品	乾製品	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の 食用加工品	
生産量 (t)									
平. 13	2 253 227	702 920	320 814	357 114	262 995	10 355	122 187	476 842	1 584 281
14	2 135 825	676 565	315 793	341 127	221 817	12 580	116 277	451 666	1 403 763
15	2 129 166	658 293	319 582	346 680	208 947	12 848	110 770	472 046	1 548 220
16	2 129 597	660 322	303 236	332 872	218 396	13 037	109 839	491 895	1 628 978
17	2 090 493	655 247	285 643	333 525	208 580	11 805	111 476	484 217	1 625 150
対前年比 (%)									
平. 13	100	99	97	99	106	93	97	99	96
14	95	96	98	96	84	121	95	95	89
15	100	97	101	102	94	102	95	105	110
16	100	100	95	96	105	101	99	104	105
17	98	99	94	100	96	91	101	98	100

注：水産物の生鮮品（丸のほか、フィレー等を含む。）を凍結室において凍結したものである。

図27 食用加工品の種類別生産量



注：（ ）内の数値は、生産量である。

図28 ねり製品の構成割合

ア ねり製品

ねり製品の生産量は65万5,247tで、前年に比べ1%減少した。

品目別にみると、ねり製品の約7割を占めるかまぼこ類は45万5,233tで、前年に比べ1%増加し、やきちくわは13万1,732t、魚肉ハム・ソーセージ類は6万8,282tで、前年に比べそれぞれ5%、4%減少した。

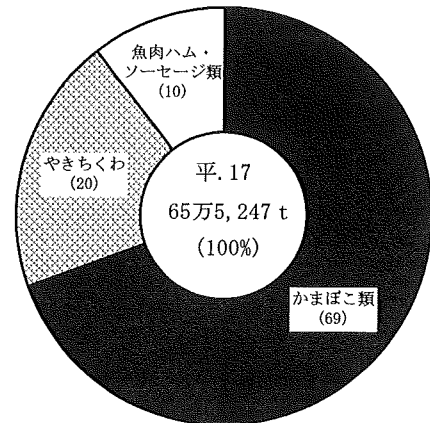


表7 ねり製品の品目別生産量

品目	単位：t		
	平. 17	16	対前年比
ねり製品計	655 247	660 322	99 %
やきちくわ	131 732	139 343	95
かまぼこ類	455 233	449 756	101
魚肉ハム・ソーセージ類	68 282	71 223	96

イ 冷凍食品

冷凍食品の生産量は28万5,643tで、前年に比べ6%減少した。

品目別に見ると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は15万3,080tで、前年に比べ5%減少し、水産物調理食品は13万2,563tで、中国、タイ等からの輸入が増加したこと等により、前年に比べ7%減少した。

表8 冷凍食品の品目別生産量

品目	単位：t		
	平. 17	16	対前年比
冷凍食品計	285 643	303 236	94 %
魚介類	153 080	160 337	95
水産物調理食品	132 563	142 899	93

ウ 乾製品

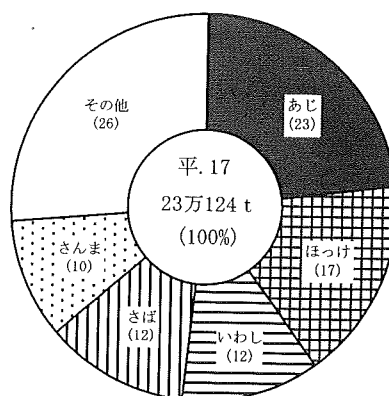
乾製品の生産量は33万3,525 tで、前年並みであった。

品目別にみると、煮干し品は7万1,057 tで、しらすの漁獲量の増加等により前年に比べ13%増加し、塩干品は23万124 tで、さばが減少したこと等により前年に比べ2%減少し、素干し品は3万2,344 tで、するめが減少したこと等により前年に比べ8%減少した。

表9 乾製品の品目別生産量

品目	平. 17	16	対前年比	
			単位: t	%
乾製品計	333 525	332 872		100
素干し品	32 344	35 031		92
うち、するめ	12 682	15 668		81
塩干品	230 124	234 981		98
うち、さば	26 988	29 037		93
煮干し品	71 057	62 860		113
うち、しらす干し	27 673	21 684		128

図29 塩干品の構成割合



品目別の魚種別構成割合を生産量の大きい順にみると、塩干品はあじ、ほっけ、いわし、煮干し品はいわし、しらす干し、いかなご、素干し品はするめ、にしんの順となっている。

図30 煮干し品の構成割合

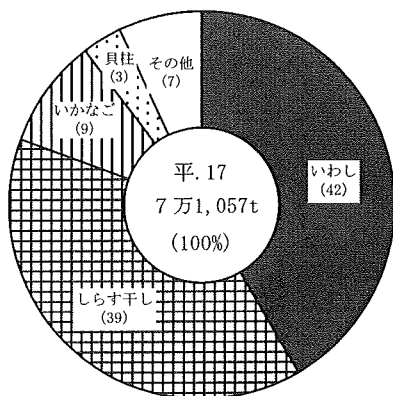


図31 素干し品の構成割合

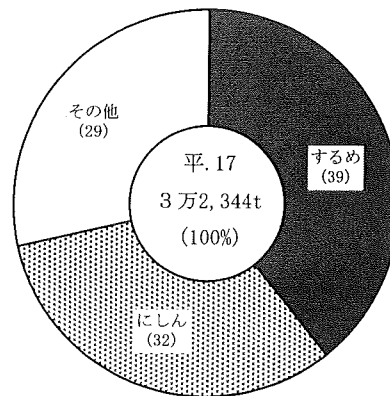


図32 塩蔵品の構成割合

エ 塩蔵品

塩蔵品の生産量は20万8,580tで、前年に比べ4%減少した。

品目別にみると、たらこ・すけとうだらは1万9,006t、さんまは1万7,503tで、前年に比べそれぞれ5%、13%増加し、さけ・ますは10万6,482t、さばは2万7,875tで、前年に比べそれぞれ4%、8%減少した。

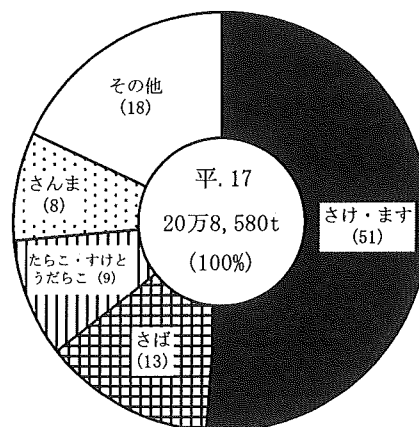


表10 塩蔵品の品目別生産量

品目	単位：t		
	平. 17	16	対前年比 %
塩蔵品計	208 580	218 396	96
うち、さば	27 875	30 211	92
さけ・ます	106 482	110 395	96
たらこ・すけとうだら	19 006	18 183	105
さんま	17 503	15 474	113

オ くん製品、節製品

くん製品の生産量は1万1,805tで、前年に比べ9%減少した。

節製品の生産量は11万1,476tで、前年に比べ1%増加した。

品目別にみると、節類は6万8,609tで前年に比べ2%増加し、けずり節は4万2,867tで、前年並みであった。

表11 くん製品、節製品の品目別生産量

品目	単位：t		
	平. 17	16	対前年比 %
くん製品	11 805	13 037	91
節製品	111 476	109 839	101
節類	68 609	66 950	102
けずり節	42 867	42 889	100

(2) 生鮮冷凍水産物生産量

生鮮冷凍水産物の生産量は162万5,150 tで、前年並みであった。

品目別にみると、さば類は36万8,694t、さんまは11万8,423 tで、漁獲量の増加等により前年に比べそれぞれ65%、10%増加し、いわし類は23万5,359 t、まあじ・むろあじ類は12万2,290 tで、漁獲量の減少等により前年に比べそれぞれ24%、29%減少した。

表12 主な生鮮冷凍水産物生産量

品 目	単位：t		
	平. 17	16	対前年比
生 鮮 冷 凍 水 産 物 計	1 625 150	1 628 978	100
うち、い わ し 類	235 359	309 661	76
まあじ・むろあじ類	122 290	172 970	71
さ ば 類	368 694	223 197	165
さ ん ま	118 423	107 359	110

5 水産物卸売価格指数（平成12年=100）

(1) 産地水産物卸売価格指数

産地水産物卸売価格指数総合は99.4で、前年に比べ0.2%上昇した。

これは、かつお（生鮮）、にしん等が低下したものの、ほっけ、かれい（冷凍）等が上昇したためである。

(2) 消費地水産物卸売価格指数

消費地水産物卸売価格指数総合は94.7で、前年に比べ1.9%上昇した。

これは、かつお（生鮮）、かに類（生鮮）等が低下したものの、さけ類（冷凍）、たら（冷凍）等が上昇したためである。

図33 水産物卸売価格指数の推移（平.12=100）

